

---

---

## 来賓挨拶

ファイザー株式会社 代表取締役社長  
原田 明久

---

---

ファイザーを代表いたしまして一言ご挨拶申し上げます。

本日、第24回ヘルスリサーチフォーラムおよび平成29年度研究助成金贈呈式が開催され、多くの研究者の方々の研究成果の発表と、本年度の研究助成を受賞される方々の参加、さらには、長きにわたりヘルスリサーチの発展に取り組んでこられた選考委員の先生がたの本フォーラムへのご尽力を目の当たりにして、出捐企業として大変嬉しく思っております。

ファイザーは『より健康な世界の実現のために』というスローガンを掲げ、研究開発企業として世界150カ国以上の国々で企業活動を行っております。われわれは、単に病気の治療ということだけではなくて、病気を背負っている患者さんの生活の質にポジティブなインパクトを与える…いわゆるペイシェント・ヘルスということを目指して活動しております。医療における企業活動は、今までは「企業中心」でありましたが、その考えから「患者さん中心」の考えに変わっているということは、もう時代がそれを示しております。そこで使われる薬剤の価値も、患者さんにどれだけインパクトを与えることができるかという、いわゆるインパクト・ベースの価値基準が今後、より鮮明になってくると考えております。従って、医療におけるイノベーションというのは、産、官、学のそれぞれが単独で生み出すものではなく、患者さまを含めた4者が連携を強め、社会全体で生み出していくものと考えております。そのためには、広くヘルスケア全般にわたるさまざまな研究活動、研究支援、そして研究者の育成を行って、サイエンスの裾野を広げていく…そういう活動が必要だと感じております。

その意味で、当社における社会貢献活動の一環として、ファイザーヘルスリサーチ振興財団に対する支援も非常に重要な活動であると考えております。財団の活動を通じてヘルスリサーチの重要性が今後ますます認識されて、この研究助成を受賞される皆さまがそれぞれの領域、分野において、研究を通じてさらなる交流を進め、社会を支える役割を担っていただくことを切に願っております。

最後になりますが、本日お集まりいただきました皆さまのご健勝を祈念して、ご挨拶に代えさせていただきますと思います。